

運動好きな子どもの育成 ～自己決定を大切にした取り組み～

大分県日田市立高瀬小学校

全校児童数	181名(男子88名 女子93名)		
全クラス数	9	教職員数	20名
体育専科教員訪問学校数			2校
訪問校	日田市立三芳小学校 日田市立桂林小学校		
体育専科教員名		岩崎 敬	

Plan：取組時の課題と計画

1 取組時の課題

- ◆運動嫌いな子が固定されており、学年が上がるにつれて外遊びをする子が減少する傾向にある。
- ◆「運動が好きですか」の問いに「どちらかといえば嫌い」「嫌い」と否定的に答える児童が昨年度末は3.6%だったが、この数字もアンケートの時期などにより変動している。

2 取組の計画

- ① 体育授業の改善
 - ・タブレット端末を使い、すべての子に学びの履歴を可視化させるとともに、一人ひとりの子どものつよやきを拾っていく。(添削→再考→授業→評価)
 - ・T.T体制の充実(授業をしながらの体育情報の共有)
- ② 特別活動の工夫
 - ・児童会が中心になって行う、「全校遊びの日」の実施
 - ・保健体育委員会が中心になって行う、体育館開放日と「異学年遊びの日」の実施。
 - ・子どもたちのアンケートを基にした、誰ひとり取り残さない運動会、持久走大会の実施。
- ③ その他
 - ・体育備品の購入(ラインテープの大量購入他)。
 - ・家族上体起こし週間の実施。
 - ・情報発信(体育専科通信・学校HPに体育専科コーナーの設置)
 - ・体育専科教員の公開授業による、校内職員の授業研究
 - ・子どもたちの声を聴くアンケートの実施。

Do：実践内容

1 体育授業の改善

- (1) 自己決定要素を増やした取り組み
 - ① フロー理論を取り入れ、多様なこどもの「楽しい」を意識し、授業改善や場や用具の工夫に努めた。
 - ② 水泳、保健、持久走などでは、学び方から自己決定させ、各自のペースで学習できるようにした。
- (2) T2の先生と単元単位の共有ノートの作成
 - ① 普通の授業では体育専科がT1をし、T2の先生が授業記録として、撮影や入力してもらった。
 - ② 単元後半や体育専科が不在の時は、共有ノートの学習履歴や授業で使える資料をもとに、T1とT2を入れ替えて授業を行なった。
- (3) 他県の先生から情報収集
 - ① 公費の県外出張旅費を活用し、島根県出雲市の授業視察を行った。また、県外から多数の視察があり、授業を見てもらい貴重な意見をいただいた。

2 特別活動の工夫

(1) 生活委員会の活用

- ① 新しい持久走大会のあり方を、児童アンケートを取るなどして子どもたちと考えた。
- ② 子どもたちと考えた持久走大会を、職員会議で提案し、実施してもらえるようにした。

●工夫したこと(&苦労したこと)

- ① これまでも持久走大会の内容を変えてきたが、児童には運動嫌いを生み出す要因にもなっていたので、生活委員会の児童に持久走大会のアンケートを作ってもらい、一人ひとりの声を聞きながら分析した。
- ② 学校行事で前例を変えるというのは、それなりの根拠が必要となり、準備と検証、そして時間と労力が必要となった。

Check：取組の成果

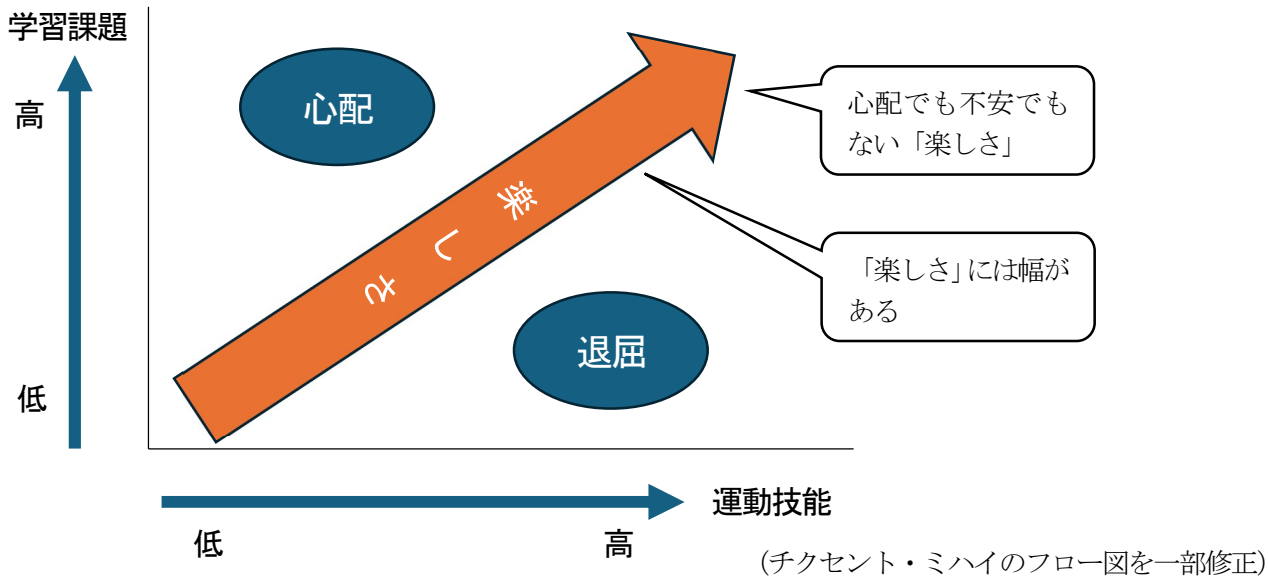
- ① 子どもたちから、「体育が好き」「体育が楽しい」という声が、今まで以上によく聞かれるようになった。
- ② 子どもたちに学び方を任せた結果、主体的に学習に取り組む態度は、確実に身に付いていった。
- ③ T2をしてもらっていた担任の先生始め、自分以外の先生の授業を見ることは、新しい視点を得る上でとても有効だった。

on：今後の課題

- ① 体育授業は好きと答えてくれる児童は多い。しかし、運動・スポーツが好きと答える数値に直結していないところもある。運動・スポーツの好きな子を増やすには、授業以外にも手立てが必要と感じている。
- ② 体育的行事については、例年通りの運営が無難にも思えるが、必ずしも「誰ひとり取り残さない」を実現しているとは言い切れない。子どもを主語にした体育的行事のあり方について、しっかり研究し、目の前の子どもたちに合った体育的行事を考え、勇気を持って進めていかなければならない。

◎体力向上の取組がもたらす波及効果

体づくり運動で、自己決定の運動プログラムを提示して授業を行なった。子どもたちは自分で学ぶことの楽しさに気づき、私たちも教師主導の授業が多かったことに気づき反省した。体力向上の取り組み方によっては、子どもが学びの楽しさに気づききっかけになる。



学び方を選ぶ

	メリット	デメリット
個人	集中 自分で解く力	わからないところが出てくる
ペア	意見交換ができる 話が深まる	いつも同じ人 1人で考えない時もある
グループ	いろいろな人の意見 深まる	1人で考える力▲
なかよしの人	話がしやすい	集中できない時もある
専門の人(保護者を含む)	答え、考え方を教えてもらえる	応用力、自分で考える力▲

学び方を自己決定



ゴール型ゲームにおける実況・解説 (多様な楽しみ方体験)

<持久走大会前>



<持久走大会後>

